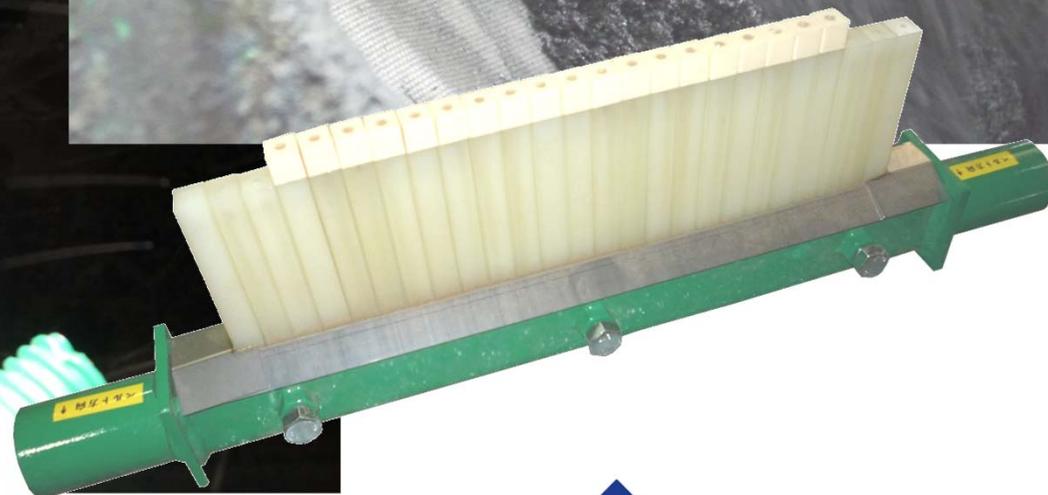


MF DIPクリーナーのご紹介



ベルトクリーナー現場写真



【MF DIP ベルトクリーナーの紹介】

耐摩耗性に優れたセラミックス(幅15mm)製搔き取り部



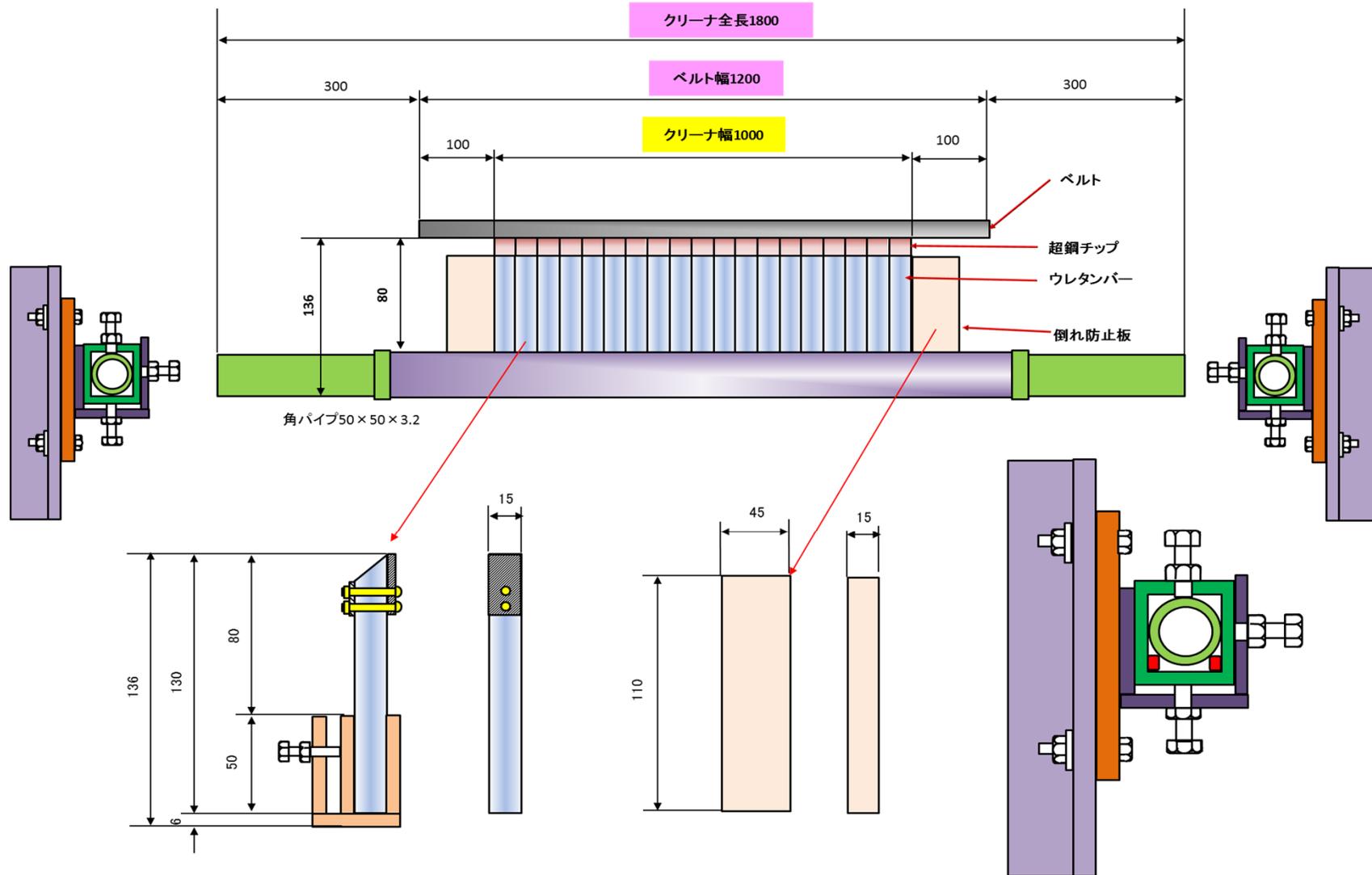
ベルトの局所的な磨耗、補修箇所等の突起に沿って接触する弾性体(ウレタンバー)

調整ボルトのみで搔き取り部をベルトに押し付けますので、調整作業が簡単です。

搔き取りした付着物がウレタンバーへの再付着を防止する防塵シート
※サンプル機の為、搔き取り部半分の取付となっています。

※写真はサンプル機となります。

ベルト幅1200mmに対して、クリーナ幅は1000mmとなります。

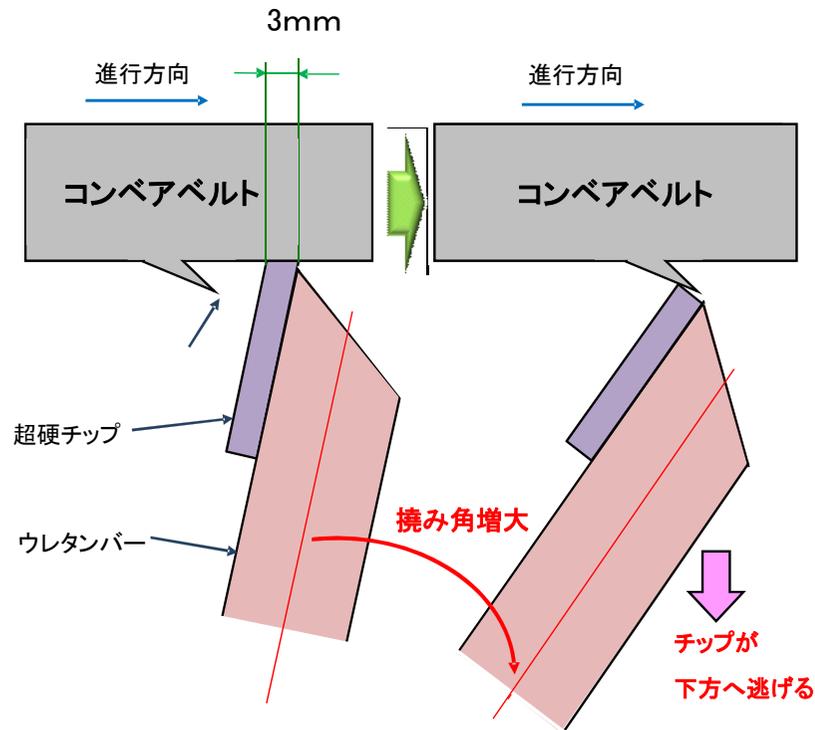


【MF DIP クリーナーと従来クリーナーの比較】

	MF DIP クリーナー	従来ベルトクリーナー
構造	<p>セラミックスチップ 超硬チップ コンベアベルト ウレタンバー</p>	<p>掻き取り不良部 コンベアベルト 掻き板 弾性体</p>
特長	<ul style="list-style-type: none"> 1) チップが15mm幅に小分割されているので、ベルト全面に均一に当接し、掻き取り残しが低減する。 2) ベルトの凹凸や上下振動に瞬時に追従できるので、掻き取り残しが低減。 3) エンドレス(ベルトの繋ぎ)部の剥離や強固な付着物を瞬時に回避できるのでベルトを損傷しない。 4) チップの摩耗に応じてウレタンが起き上がり、自動的にチップの高さを調節するので、長期に渡り調整が不要。 5) 超硬チップの厚み(3mm)を薄くできるので、ダストの掻き取り能力が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 1) 掻き板の幅(100~300mm)が広いのでベルトと掻き板の間に隙間が発生し、掻き取り残しが発生する。 ⇒ 2) ベルトの凹凸や上下振動にほとんど追従不可能であり、掻き取り残しが発生する。 ⇒ 3) エンドレスの剥離や強固な付着物を回避できないのでベルトを損傷する危険性がある。 ⇒ 4) 短周期での調整が必要。 ⇒ 5) 超硬チップの厚み(5~7mm)が厚いので、ダストが滑るので掻き取り効率

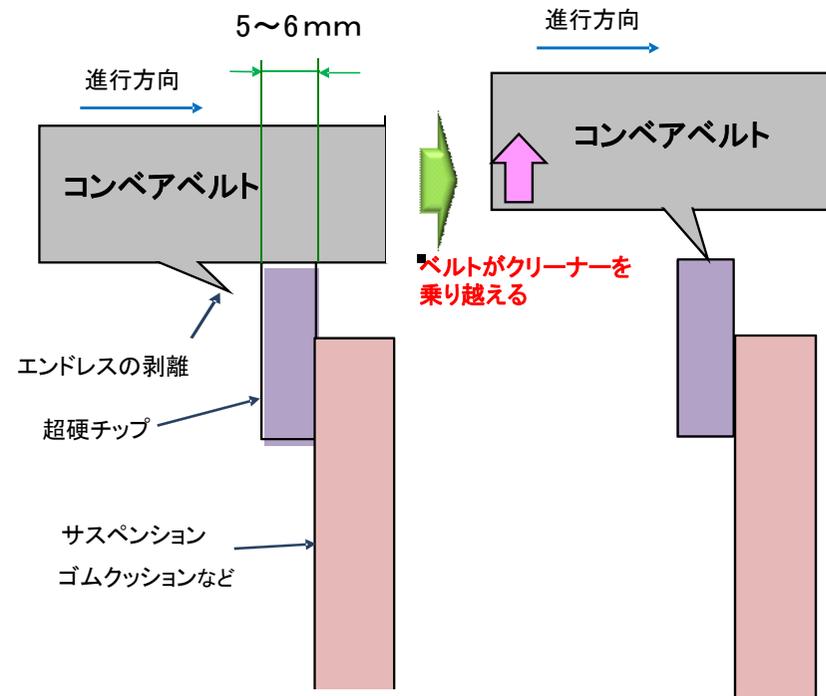
【掻き取り方の比較】

MF DIP クリーナー



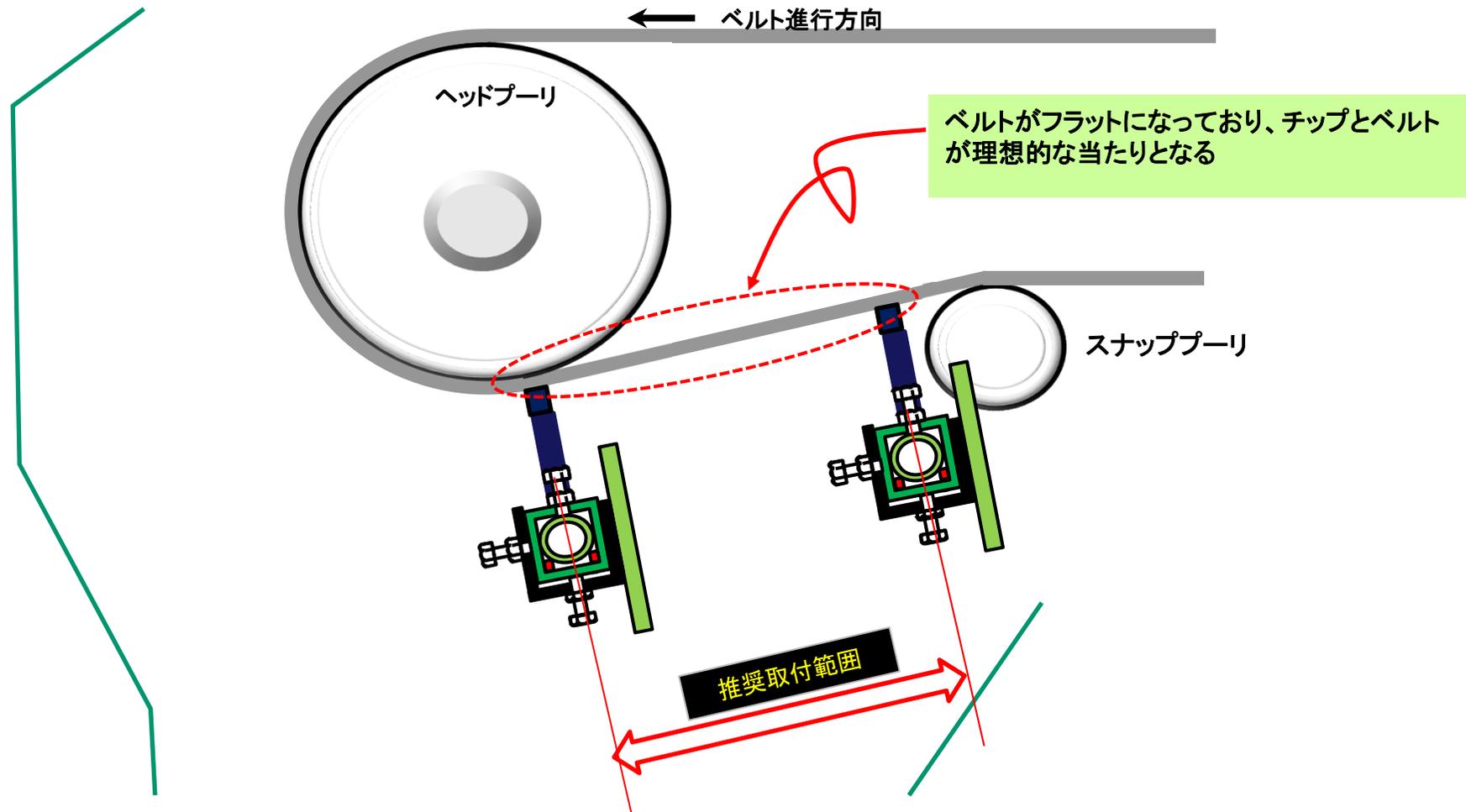
- 1) ウレタンバーが瞬間的に大きく撓む。
➔ エンドレスの剥離を瞬間的に回避する。
- 2) チップの厚みが薄いので、面圧が大きくなる。
➔ ダストの掻き取り性能が高い。

従来のベルトクリーナー



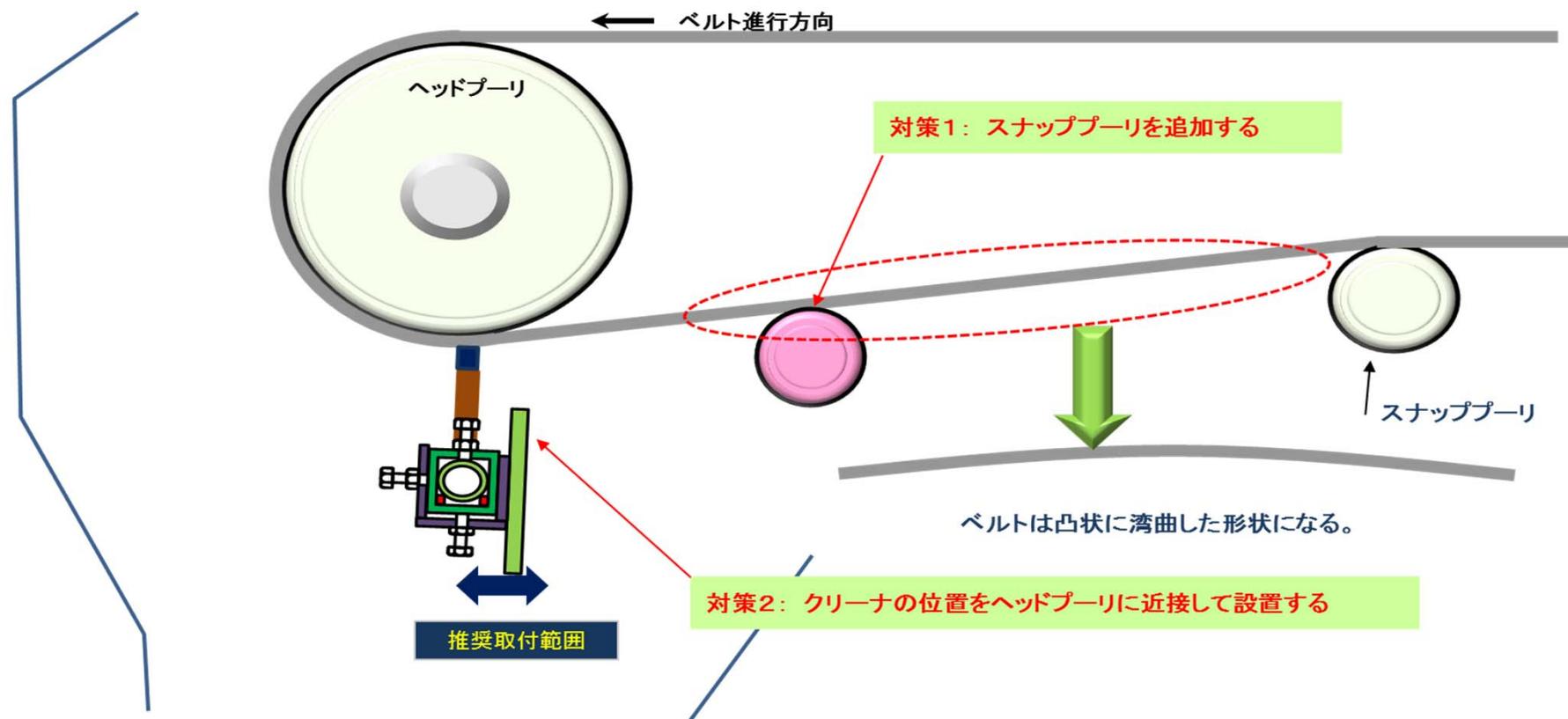
- 1) サスペンション部の剛性が大きいので撓むことができないので、ベルトがクリーナーを乗り越える状態になる。
- 2) チップ厚みが厚いので、面圧が小さくなりダストの掻き取り性能が低下する。

【MF DIP クリーナ 推奨取付位置】



- 1) ベルトに直角に取り付けることをお勧めいたします。掻き取り後のダスト落下がスムーズになります。
- 2) シュート内に取り付けることをお勧めいたします。掻き取り後のダスト処理が不要になります。
- 3) 上下変動するヘッドプーリの真下は避けてください。クリーナーが破損する恐れがあります。
(その場合の対策として、クリーナーを直角に取り付けられない方法があります)

ヘッドプーリとスナッププーリが離れている場合



ヘッドプーリがドライブプーリでない場合は、ヘッドプーリの近くにスナッププーリが取り付けられていないケースがあります。このようなケースでは、ヘッドプーリの出側ベルトにはテンションがかかりませんので、ベルトは凸状に湾曲します。

対策として、**対策1: スナッププーリを追加する**

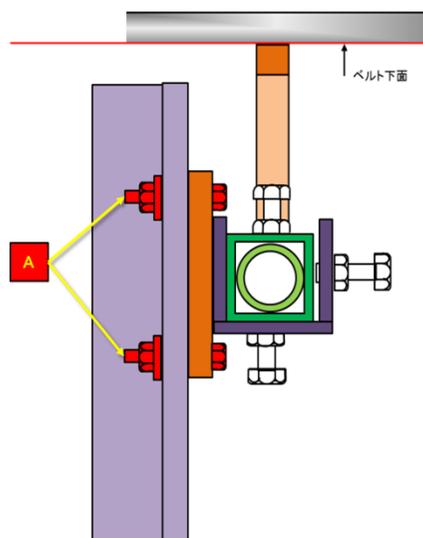
対策2: クリーナの位置をヘッドプーリに近接して設置する

などの対応をお奨めいたします。

【取付要領】

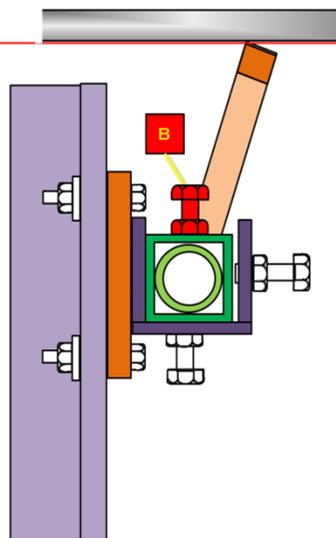
①

- 1) ベルト下面にチップを当てる。
- 2) Aボルトを締める。



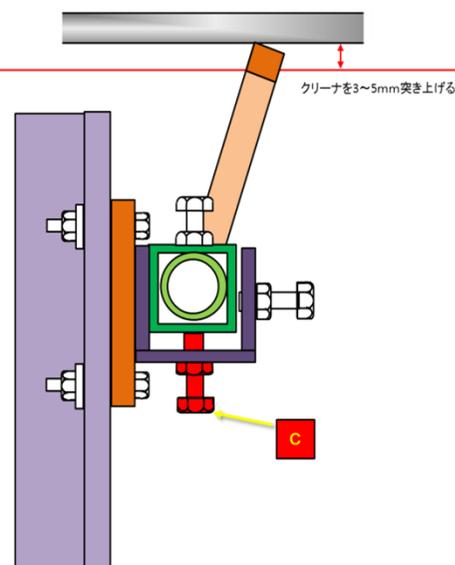
②

- 1) パイプを廻してクリーナーとベルトの角度を設定する。
- 2) Bボルトを締める。



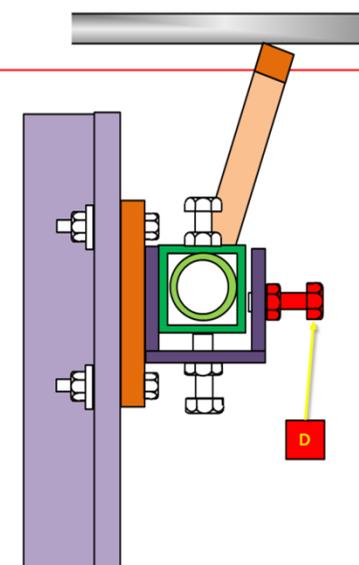
③

- 1) クリーナーを3~5mm突き上げる。
- 2) C押さえボルトを締める。



④

- 1) Dボルトを締める。



【取付現場写真の比較】

他社製 クリーナー設置時



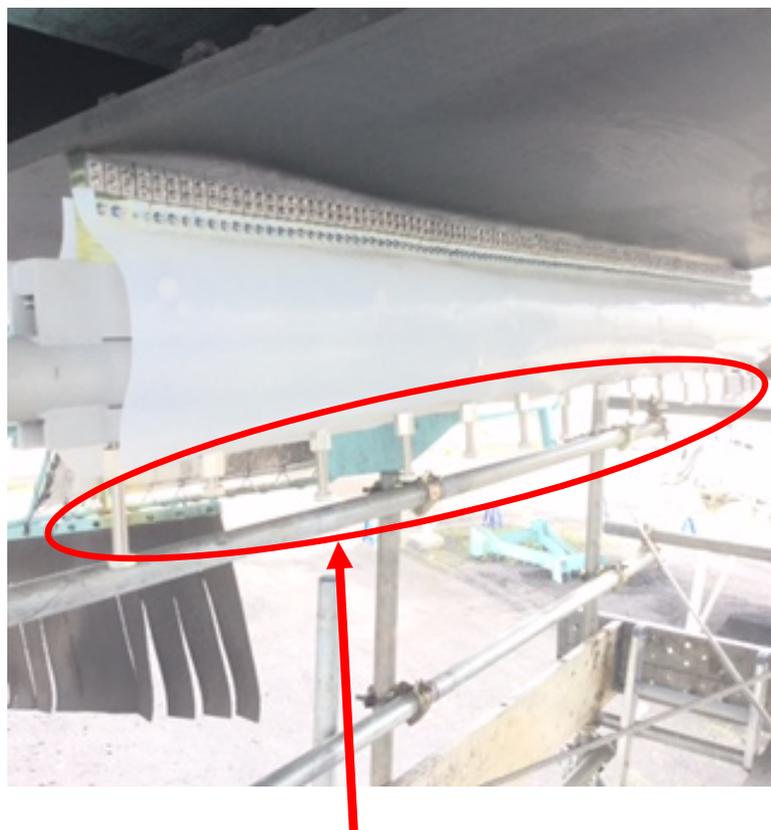
- ①プーリーに付着物がたまり、こびりついています。
- ②ベルトは付着物の色がつき、白色になっています。

MF DIP クリーナー設置後

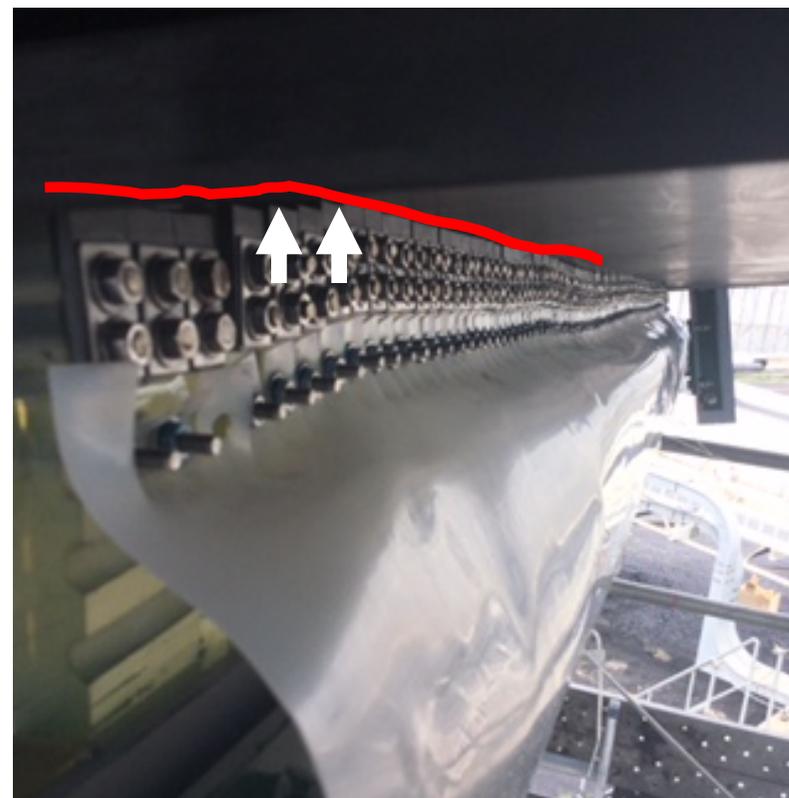


- ①プーリーのラギング模様がはっきり見えるようになりました。
- ②ベルトの色が元の黒色に戻っています。

ベルトの凹凸に合わせクリーナーの先端形状を自由自在に調整できる機能がつきました。



ウレタンバーをボルトで押し上げ、ベルトの形状にチップを合わせる
ことができます。



変形した形状のベルトに対応する
ことができます。

【チップの予想される寿命】

搬送物	セラミックスチップ	超硬チップ
石炭	2年	3年
コークス	2カ月	6カ月
鉄鉱石	4カ月	1.2年
焼結	4カ月	1.2年
石灰石	1年	3年
木材	2年	6年

※本表は消耗試験(80M/minの場合)に基づくデータです。
条件により異なる場合がございます。